

# 遊湯

## ゆるり旅



山梨県・甲州市  
裂石温泉



## 山梨ワインと1300年の露天風呂でのんびり湯三昧

2024年1月時点

②お造りは岩魚と甲斐サーモン。白菜の漬物やゆずのコンポートなどは自家製。素朴な家庭料理にほっこりできる  
③内風呂では冷鉱泉と加温した温泉で温冷交互浴ができる ④のんびり落ちつく客室

うんぼうそう  
裂石温泉 雲峰荘

住所:山梨県甲州市塩山上萩原2715-23 Tel:0553-32-3818  
客室数:9室(トイレ・洗面所は共同) 料金:1泊2食付き1人1万2,250円~(消費税・入湯税込み、  
1室2名利用時、1名利用はプラス1,100円)

アクセス:JR中央本線塩山駅からバスで約35分。大菩薩登山口下車、徒歩5分。



塩山御影石の一枚岩をふんだんに使った露天風呂。屋根の石は横2m、縦3mくらいありそうな大岩だ

①

②

③

④

江戸時代までは武蔵と甲斐を結ぶ青梅街道の難所だった大菩薩峠。その登山口にある裂石温泉の開湯は奈良時代に遡る。言い伝えによると、仏教僧の行基が修行中に落雷があり、岩が裂けて温泉が湧き出したという。裏手にある雲峰寺の寺伝にも同じく「行基の修行中、岩の裂け目から生えた萩の巨木で彫った十二面觀音をご本尊として開創した」とあるから、裂石温泉は1300年の歴史をもつ温泉といえる。「雲峰荘」の創業は大正時代。この地域は塩山御影石の産地で、露天風呂でも内風呂でも岩の存在感が際立つ③。特に露天風呂の大岩の屋根は圧巻だ①。

肌の脂や汚れを落とす作用があるpH9のアルカリの温泉で、男女一緒にに入る混浴風呂だ。ゆゆ着(湯浴み着)が貸し出され、夜には女性専用時間も設けられている。27℃の冷鉱泉がちょうどよい温度に加温されていて、30分ほど長湯を楽しむことができた。

「うちは自分たちで食材を作っているんです」と女将さんが話す通り、ここでは野菜や米などを自家栽培している②。売店に手作りの野菜、鴨や鮭の燻製、キウイジャム、杏のコンポートなども並ぶ。

古代米の黒米はチェックインの時に出てくる

お餅(冬季のみ)と、朝食のご飯で味わえる⑥

⑦。黒米のお餅は見た目が無骨で、炭火で炙つてもふくつと膨れることはない。だが、口の中に入れるとびっくりするほどやわらかく、滋味深い。紫黒色の黒米は抗酸化作用があるといわれる、アントシアニンを豊富に含む健康食だ。

山梨県はワインの産地だから、同じくアントシアニンを多く含む赤ワインも飲みたい⑤。客室に置かれたワインリストには、無添加のものや市販されていない限定品など30種類以上が載っていて、夕食時に番号を伝えれば用意してもらえる。土曜の夕方にはバーでワインの試飲会も行われている。

この宿には犬、猫もいる。といっても、ペットと泊まれる宿とは違う。ここにいるのは保護犬と保護猫だ。「うちでは飼えないけれど、何かしてあげたい」というお客様の声を受けて、募金活動などをスタートしたのが2014年。以来10年間、雲峰荘では年間20匹以上の保護犬・猫の里親探しに尽力してきた。

「65歳以上の方は里親不可」というケースも多いですが、うちは人物重視。高齢や障害などで引き取り手がない犬・猫の世話をもっています」とフロントの三村啓予さん。チェックイン時に警戒していた2匹のワンちゃんも、帰る時には人懐っこく尻尾を振ってくれた⑧。「お客様が一緒に散歩に行ってくれることもあります」とのことで、犬好きの方はワンちゃんととの交流も

お餅(冬季のみ)と、朝食のご飯で味わえる⑥

⑦。黒米のお餅は見た目が無骨で、炭火で炙つてもふくつと膨れることはない。だが、口の中に入れるとびっくりするほどやわらかく、滋味深い。紫黒色の黒米は抗酸化作用があるといわれる、アントシアニンを豊富に含む健康食だ。

山梨県はワインの産地だから、同じくアントシアニンを多く含む赤ワインも飲みたい⑤。客室に置かれたワインリストには、無添加のものや市販されていない限定品など30種類以上が載っていて、夕食時に番号を伝えれば用意してもらえる。土曜の夕方にはバーでワインの試飲会も行われている。

この宿には犬、猫もいる。といっても、ペットと泊まれる宿とは違う。ここにいるのは保護犬と保護猫だ。「うちでは飼えないけれど、何かしてあげたい」というお客様の声を受けて、募金活動などをスタートしたのが2014年。以来10年間、雲峰荘では年間20匹以上の保護犬・猫の里親探しに尽力してきた。

「65歳以上の方は里親不可」というケースも多いですが、うちは人物重視。高齢や障害などで引き取り手がない犬・猫の世話をもっています」とフロントの三村啓予さん。チェックイン時に警戒していた2匹のワンちゃんも、帰る時には人懐っこく尻尾を振ってくれた⑧。「お客様が一緒に散歩に行ってくれることもあります」とのことで、犬好きの方はワンちゃんととの交流も

江戸時代までは武蔵と甲斐を結ぶ青梅街道の難所だった大菩薩峠。その登山口にある裂石温泉の開湯は奈良時代に遡る。言い伝えによると、仏教僧の行基が修行中に落雷があり、岩が裂けて温泉が湧き出したという。裏手にある雲峰寺の寺伝にも同じく「行基の修行中、岩の裂け目から生えた萩の巨木で彫った十二面觀音をご本尊として開創した」とあるから、裂石温泉は1300年の歴史をもつ温泉といえる。「雲峰荘」の創業は大正時代。この地域は塩山御影石の産地で、露天風呂でも内風呂でも岩の存在感が際立つ③。特に露天風呂の大岩の屋根は圧巻だ①。

肌の脂や汚れを落とす作用があるpH9のアルカリの温泉で、男女一緒にに入る混浴風呂だ。ゆゆ着(湯浴み着)が貸し出され、夜には女性専用時間も設けられている。27℃の冷鉱泉がちょうどよい温度に加温されていて、30分ほど長湯を楽しむことができた。

「うちは自分たちで食材を作っているんです」と女将さんが話す通り、ここでは野菜や米などを自家栽培している②。売店に手作りの野菜、鴨や鮭の燻製、キウイジャム、杏のコンポートなども並ぶ。

古代米の黒米はチェックインの時に出てくる

お餅(冬季のみ)と、朝食のご飯で味わえる⑥

⑦。黒米のお餅は見た目が無骨で、炭火で炙つてもふくつと膨れることはない。だが、口の中に入れるとびっくりするほどやわらかく、滋味深い。紫黒色の黒米は抗酸化作用があるといわれる、アントシアニンを豊富に含む健康食だ。

山梨県はワインの産地だから、同じくアントシアニンを多く含む赤ワインも飲みたい⑤。客室に置かれたワインリストには、無添加のものや市販されていない限定品など30種類以上が載っていて、夕食時に番号を伝えれば用意してもらえる。土曜の夕方にはバーでワインの試飲会も行われている。

この宿には犬、猫もいる。といっても、ペットと泊まれる宿とは違う。ここにいるのは保護犬と保護猫だ。「うちでは飼えないけれど、何かしてあげたい」というお客様の声を受けて、募金活動などをスタートしたのが2014年。以来10年間、雲峰荘では年間20匹以上の保護犬・猫の里親探しに尽力してきた。

「65歳以上の方は里親不可」というケースも多いですが、うちは人物重視。高齢や障害などで引き取り手がない犬・猫の世話をもっています」とフロントの三村啓予さん。チェックイン時に警戒していた2匹のワンちゃんも、帰る時には人懐っこく尻尾を振ってくれた⑧。「お客様が一緒に散歩に行ってくれることもあります」とのことで、犬好きの方はワンちゃんととの交流も



読者プレゼント♪ 1名様

印伝の小銭入れ 1個

鹿革に漆で模様付けした、甲州に伝わる工芸品。小さな花が集まって和気あいあいと咲いている様子を描いた紫陽花柄。手のひらサイズ。

サイズ:6.5×8.5×3cm  
p33のアンケートにご回答の上ご応募ください



玄関ではワンちゃんがお出迎え



囲炉裏で焼く黒米のお餅は、甘辛醤油をつけて



朝食でも自家農園で作った黒米を味わえる



ワイナリー蒼龍葡萄酒の無添加赤ワイン

自家製の食材でおもてなし